



## 土曜学習「わかまち 多治見大好き講座」 参加してみて考えたよ！

第4期 多治見陶磁器探検隊②  
～多治見上絵付に挑戦～(7/5)

### I. 受講生より

#### 1. 参加して新しく発見したことは何ですか？

- ・昔の絵は手で描いていたと初めて知った。(小2)
  - ・タイルや器に上絵付をする時は、専用の絵の具を使うということが分かった。(小6)
  - ・赤に違う色を混ぜると美しい色になることを初めて知った。(小2)
- ・焼く前は白だったのに、焼いた後は色が付くことを初めて知った。(小6)
- ・職人さんの手の動きがすごく速くてびっくりした。タイルに絵の具を付けるのはとても難しく、手もいたくなるほどだった。(小3)
- ・手描きをしている人は減ってきていること(小4)
- ・職人さんたちが伝統を守り続けていること(小1)



#### 2. 50年後の多治見はどうなっている？

- ・陶器の店や食器の店が有名になってほしい。(小2)
- ・今多治見で講座があるから、50年後は、陶器であふれる多治見市になっていると思う。(小4)
- ・上絵付職人さんはもっと少なくなっていると思うけど「上絵付」は残っていると思う。(小5)
- ・上絵付の町ができていく。(小3)
  - ・50年後は、コンピューターで絵を描いているので、筆などで描いていたら「すごい！」と言われる世界になっていると思う。(小2)
  - ・ロボットが働くようになっていくと思うけど、上絵付は人の手で大切に描かれてほしい。(小3)
- ・橋や壁などに上絵付がされた器などの破片が使われている。(小6)
- ・焼き物が町のいろいろな所に飾られ、オシャレできれいな町になっている。(カラフルで町の人の心が見えているだけで明るくなるような)(小1)



#### 3. 未来の自分へ励ましのメッセージを送ろう！

- ①私は、たくさんのやきものなど、いろいろ作ってみたいから、そのために作る講座をたくさん開催してほしい。(小4)
- ②私は絵を描く人になりたい。そのために、絵の具で

- 絵を描くことに慣れておきたい。そうすれば、手描きの陶器屋さんになれるかもしれない。(小4)
  - ③多治見の陶器に関係する仕事をしてみたい。(小6)
  - ④サポートしてくれた人みたいになってやってみたい。(小2)
  - ⑤筆で描けば「すごい！」と言われるかもしれないから、もっと筆で絵を描くことを頑張りたい。(小2)
  - ⑥もっと絵がうまくなりたい。そのためにたくさん絵を描く。(小5)
  - ⑦私は陶器を作る人になりたい。そのためにたくさんの講座に出て陶器のことを知りたい。(小4)
  - ⑧土岐川に落ちているタイルやシーグラスを使って作品を作る！(小1)
  - ⑨私は陶器屋さんをやってみたい。そのために陶器のことをもっと知りたい。(小3)
- ※今回の講座により、13%の受講者が多治見の陶磁器産業と関連した自分の将来の夢をイメージした。

#### 4. その他参加して思ったこと

- ・多治見にはかっこいい人や文化があるんだなあ。この文化を僕も大事にしていきたい。(小1)
- ・先生たちが一生懸命教えてくれて、とてもわかりやすかった。本当にたくさんの人に感謝を伝えたい。本当にありがとうございました。(小4)
- ・最初は簡単だと思ったんだけど、やってみると難しく、思い通りにいかなかった。職人技になるには、何を頑張ればいいですか？(小3)
- ※「技を見てひたすら真似ること20年！」と、おっしゃってました。
- ・小泉さんのように、みんなに「すごいね！」と、認められるような人になりたいな。今は「すごい！」と言ってもらえる特技を見つけて力を付けていきたい。(小1)



#### 5. 保護者より

- ・自分で考え、自分で行動することができるようになってきたと思う。(小4)
- ・上絵付の実演を見ることによって上絵付の仕事が分かり、自分でやってみることで、その技術の素晴らしさが伝わったのではないかなと思う。(小3)
- ・小1には難しいアンケートの印象だったが、「どう？楽しかった？」「そのためにどうしたい？」と、問いかけの方法をいつもと違うようにできて、親も新鮮だった。ありがとうございました。(小1)

### II. 中学生ボランティアより

- ・次のボランティアでは、今回できなかった素早く動くことを頑張りたい。(中2)
- ・もう中学3年で土曜学習は最後の年だけど楽しんで小学生のお手本になれるように頑張りたい。(中3)